



# アカンサス

【校訓：責任 友愛 努力】

平成31年(2019年)  
1月号  
発行  
能美市立辰口中学校  
波佐尾 雅美

## 新たな年

## 新たな時代のスタート!

### めざす学校・生徒像

た 楽しい学校  
つ つながり合い高め合う生徒  
の 伸びゆく能美市を支える生徒  
く くじけずやり抜く生徒  
ち かいっぱい生きる生徒

新年あけましておめでとうございます。平成最後の年となる年明けを迎えました。最後という少し寂しい気はしますが、新しい元号に変わる年、新しい時代のスタートの年です。新鮮な気持ちで頑張っていきましょう。

3学期は、3月の中旬までおよそ2ヶ月半位しかない短い学期です。しかし、短くても、3学期はこの一年間の総仕上げをする時期でもあります。勉強はもちろんですが、生活面もすべて。頭も心もです。1、2学期の間に何ができたのか、できなかったのかを振り返り、できなかったことは今学期にしっかり仕上げなければなりません。今の学年で付けるべき力を付けるラストチャンス。大事な期間であることを自覚して、時間を大事に、歩を進めていきましょう。

**平成30年度の締めくくり、今年度の辰中メンバーで、  
「た・つ・の・く・ち」を目指し「ACTIVE!」に頑張るぞ!!**

### ◆◆3学期始業式の話より◆◆

地域の方から素敵なプレゼントいただきました。

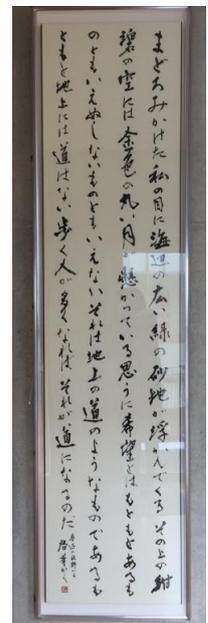
「まどろみかけた私の目に、海辺の広い緑の砂地が浮かんでくる。その上の紺碧の空には、金色の丸い月が懸っている。思うに希望とは、もともとあるものともいえぬし、ないものともいえない。それは地上の道のようなものである。もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。」

3年生はすでに学習しましたが、これは中国の作家 魯迅の書いた小説「故郷」の最終節です。主人公である「私」の心が未来に向かっていく象徴的な場面です。この書(習字の額)を、地域の書道家 北村啓華さんから寄贈していただき、2階の会議室横に展示してあります。作者 魯迅は、ペンの力で人々の心を勇気付け、自立に向けて変革していこうとした強い意志の持ち主です。北村さんは、希望についての表現が、自分の進路に向かっていく3年生に似つかわしいとおっしゃっていました。

この「故郷」という作品は、現在出版されている3年生用の国語の教科書、全てに載っている作品、つまり、日本中の中学3年生が学ぶ作品です。ここにいる先生方も、私も中学生の時に学びました。そして、私は中学校の国語科の教員でしたが、1年から3年までの教科書の中で最も好きな教材です。

3年生には、ぜひこの作品をもう一度読み直し、希望について、また、魯迅の大きさ、強さというものを改めて考えてほしいです。1、2年生は、3年生になってこの作品を学ぶ時、ぜひ作者の意志を感じてほしいです。

何より、まず、生徒の皆さんには、この書の前に立ち、声に出して読んで、作品の強さを味わうとともに、プレゼントしてくれた北村さんの思いを感じてほしいと思います。



1,2年書初め大会



日々の写真は、辰口中学校ホームページに載せてありますのでご覧ください。  
[http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~tatsukuj/NC2/htdocs/index.php?page\\_id=0](http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~tatsukuj/NC2/htdocs/index.php?page_id=0)

辰口中学校

検索